

# 【正誤表】

『2024年 第42回学術大会 プログラムおよび講演抄録集』にて、掲載内容に誤りがございました。  
関係各位にご迷惑をおかけしましたことを謹んでお詫び申し上げ、ここに訂正いたします。

特定非営利活動法人 日本顎咬合学会

訂正箇所	誤	正
15頁 協賛会員企業 展示リスト	脱落	<b>1-23 日本メディカルテクノロジー株式会社 金属精錬業</b> <b>16-1 株式会社BMS JAPAN 歯科材料（製造・販売）</b> <b>1-31 マニー株式会社 医療機器（製造・販売）</b> ※修正リスト（右ページ）
21頁 プログラム⑥ 聴講対象職種の表記	Dr.とDT	<b>Dr.とDH</b>
28頁 口演発表／6月8日（土） 上段 時間の表記	15:10～16:50	<b>13:30～15:10</b>
31、32頁 ポスター発表 P-27～P-34 日時の表記	6月9日（日） 10:00～10:40	<b>6月8日（土） 14:00～14:40</b> ※修正表（裏面）
91、92頁 L-101／L-102／L-103 時間の表記	L-101 13:30 – 14:15 L-102 14:15 – 15:00 L-103 15:00 – 15:45	<b>L-101 13:30 – 14:30</b> <b>L-102 14:30 – 15:30</b> <b>L-103 15:30 – 16:30</b>
169頁 0-134 会場の表記	G505	<b>G504</b>

# 企業展示

8日(土) 12:30～18:30(一部17:00まで) 9日(日) 9:00～16:30

## 賛助会員企業展示リスト（五十音順）

コマ番号	会社名	業種
1-20	アース製薬株式会社	医薬品医薬部外品販売
1-19	相田化学工業株式会社	金属精錬業
1-21	アサヒブリック株式会社	金属精錬業
1-32	朝日レントゲン工業株式会社	医療機器（製造・販売）
1-1	株式会社AT-MARK CONSUL.	歯科材料（製造・販売）
4-2	株式会社アルタデント	歯科材料（製造・販売）
書4-1	医歯薬出版株式会社	出版社
1-2	伊藤超短波株式会社	医療機器（製造・販売）
2-5	Ivoclar Vivadent株式会社	歯科材料（製造・販売）
書2-2	インターアクション株式会社	書籍
1-3	インビザライン・ジャパン株式会社	医療機器歯科材料
1-4	ウエルテック株式会社	医療機器
1-5	URTLA DENT JAPAN株式会社	医療機器輸入販売
2-4	エンビスタジャパン株式会社	医療機器
1-43	欧和通商株式会社	医療機器
1-6	有限会社オーラス	歯科材料
3-4	株式会社オーラルケア	歯科材料
2-1	株式会社岡部	歯科材料輸入販売
1-9	株式会社OSSTEM JAPAN	医療機器（製造・販売）
1-8	株式会社オルコア	医療機器
1-10	株式会社ガイドデント	その他
3-2	株式会社カイマンデンタル	医療機器・歯科材料
10-1	カボプランメカジャパン株式会社	医療機器輸入販売
1-41	キューピー株式会社	食品
2-3	京セラ株式会社	歯科材料
書3-1	クインテッセンス出版株式会社	出版社
5-2	グラクソ・スミダイン・コンシューマー・ヘルスケア・ジャパン株式会社	医薬品
5-1	クラレノリタケデンタル株式会社	医療機器（製造・販売）
1-11	株式会社grits	医療機器のデジタルコンテンツ企画・販売・コンサルティング
1-12	株式会社コムネット	IT関係
1-13	株式会社サインズスクエア	看板広告
1-14	サンメディカル株式会社	歯科材料
8-1	株式会社歯愛メディカル	歯科材料
9-4	株式会社ジーシー	医療機器
1-15	株式会社ジェイメック	医療機器の輸出入販売・研究開発及び製造
1-17	歯科医院経営研究会	その他サービス業
1-18	株式会社シケン	歯科材料
4-3	株式会社松風	医療機器
2-12	ジンヴィ・ジャパン合同会社	歯科材料
4-1	株式会社ストランザ	IT関係
2-6	ストローマン・ジャパン株式会社	医療機器
6-1	スリーエムヘルスケアジャパン合同会社	歯科材料
2-16	株式会社soeasy	IT関係
2-7	株式会社ソニックテクノ	医療機器

コマ番号	会社名	業種
3-3	タカラベルモント株式会社	医療機器
1-22	DIO Digital 株式会社	医療機器
1-24	デンケン・ハイドENTAL株式会社	医療機器
書2-1	株式会社デンタルダイヤモンド社	出版社
2-10	デンツプライシロナ株式会社	歯科用材料 医療機器
1-16	株式会社東京歯材社	歯科材料
2-8	株式会社ドクターブック	研修企画・運営
2-11	株式会社トクヤマデンタル	医療機器
2-9	株式会社ナカニシ	医療機器
1-40	株式会社日本歯科商社	医療機器・歯科材料
1-23	日本メディカルテクノロジー株式会社	金属精錬業
1-26	ニューデンタルリサーチ株式会社	歯科材料
2-2	ノーベルバイオケア・ジャパン株式会社	医療機器
1-27	バウシュ咬合紙ジャパン株式会社	歯科材料
2-13	白水貿易株式会社	医療機器・歯科材料・薬品
3-1	PRSS.Japan株式会社	世界の医療品のリサーチ・供給サポート
16-1	株式会社BMS JAPAN	歯科材料（製造・販売）
1-44	BTIジャパン株式会社	医療機器輸入販売
1-25	株式会社日向和田精密製作所	医療機器
1-28	ヒューフレディ・ジャパン合同会社	医療機器・歯科材料
書1-1	株式会社ヒョーロン・パブリッシャーズ	出版社
2-14	フォーク株式会社	ユニフォームの企画・製造・販売
9-1	株式会社フォレスト・ワン	医療機器
1-30	プレミアムプラスジャパン株式会社	歯科材料・医療機器
1-45	株式会社プロシード	医療機器
2-17	ペントロンジャパン株式会社	歯科材料
2-15	株式会社マイクロテック	歯科材料
1-31	マニー株式会社	医療機器（製造・販売）
1-33	三井住友トラストクラブ株式会社	その他
1-34	明海大学歯学部 生涯研修部	大学
9-5	株式会社メガジェンジャパン	インプラント及び関連機材販売
1-35	メディア株式会社	IT関係
1-29	株式会社メディアアート	IT関係
1-36	有限会社メディア・レフ	IT関係
6-2	株式会社茂久田商会	医療機器
9-3	株式会社モリタ	医療機器
1-37	株式会社モリムラ	歯科医療器具・材料・書籍
1-38	YAMAKIN株式会社	歯科材料の開発・製造販売・金属加工
9-2	株式会社ヨシダ	医療機器（製造・販売）
1-7	ライオン歯科材料株式会社	歯科材料
10-2	株式会社RAY JAPAN	歯科医療機器製造販売
1-39	ロート製薬株式会社	医薬品製造販売
1-42	和田精密歯研株式会社	医療機器

ポスター発表／6月8日（土）ホールE

14:00 14:40	<b>P-001 林 聡一</b> 咬合崩壊した患者に対して テレスコープ義歯を用いた症例	<b>P-010 鈴木 一</b> IOD無歯顎症例における累積生存 率の比較	<b>P-018 長塚 弘亮</b> デジタルインプレッションによ る咬合接触状態の検証	<b>P-027 河合 芽生</b> アライナー矯正治療における 歯科衛生士業務の効率化
	<b>P-002 内藤 洋介</b> レジンが形成された彎曲根管に対 して治療を行った症例	<b>P-011 久保寺 理人</b> 一般臨床医における インプラント周囲病変の罹患率 と要因	<b>P-019 小森 真樹</b> 院内完結型の デジタルデンティストリーへの 取り組み	<b>P-028 尾張 志歩</b> 子供の口腔習癖へのアプローチ
	<b>P-003 高須 浩徳</b> 顎関節症患者に対し中心位にて 咬合再構成を行った症例	<b>P-012 国立 雅一</b> ダイナミックナビゲーションシ ステムを用いた3Dナビゲーショ ンサージェリーの 1症例	<b>P-020 松本 篤樹</b> プライマーが切削加工用 義歯床用レジンの接着強さに 及ぼす影響	<b>P-029 高橋 慈子</b> 機能的顎矯正装置使用中の 患者モチベーション向上への アプローチ
	<b>P-004 永田 一樹</b> 下顎全部床義歯吸着印象法による 維持安定と咬合に関する臨床研究	<b>P-013 横山 純也</b> 咬合平面を整え、欠損部に インプラント埋入を行った症例	<b>P-021 都筑 孝也</b> 口腔内における歯科用合金の 化学的安定性の評価	<b>P-030 松田 伽菜</b> 基礎資料の収集の重要性
	<b>P-005 宮下 洋輔</b> 患者のマイクロスコブに対する 認識、理解を再考する	<b>P-014 横山 憲生</b> インプラント治療を見据えて 歯槽堤保存術を行った1症例	<b>P-022 竹添 陽介</b> 3Dプリンターにおけるクリアレ ジンのオーバーキュア対策	<b>P-031 永田 果理奈</b> 継続管理が患者との 信頼関係構築に繋がった1例
	<b>P-006 山岡 怜央</b> 深在性齶蝕歯に対し生活歯髄温存 療法を用いた1症例	<b>P-015 谷口 貴一</b> 上顎前歯のインプラント治療に 対して 矯正的挺出を行なった1症例	<b>P-023 田島 慶二</b> テレスコープシステムによる 補綴装置の製作	<b>P-032 二見 曜子</b> 学校歯科保健活動における アンケートを用いた 意識調査について
	<b>P-007 朝野 有香</b> ダイレクトボンディングにて 臼歯咬合面の形態回復を行なった 症例	<b>P-016 田中 雅</b> デジタルを用いたインプラント 埋入の1症例	<b>P-024 有本 吉伸</b> アルギン酸塩印象材の 寸法変化に与える固定液の 有用性について	<b>P-033 中谷 知春</b> 託児室における歯科保育士の 取り組み
	<b>P-008 高田 昌平</b> MIに基づき隣接面う蝕を コンポジットレジンにて 修復した症例	<b>P-017 金城 朝尚</b> ガイドを用いた下顎骨内異物除去 と同時にインプラント埋入した 症例	<b>P-025 横田 宏之</b> デジタル化の今、譲れない アナログ技術	<b>P-034 澤井 佳代</b> 測色計を使用した 臨床応用の実験
	<b>P-009 三原 恵里奈</b> ラテックスアレルギーの感作と 対策に関する検討		<b>P-026 平原 仁寿</b> 乳歯永久歯混在歯列における 審美回復	
座長	並木 一郎／河原 太郎	田中 憲一／坂田 晋也	櫻井 健次／羽田 詩子	武井 賢郎／菅崎 紳

ポスター発表／6月9日（日）ホールE

10:00 10:40	<b>P-035 川里 邦夫</b> 2・3・4 substitution	<b>P-045 佐藤 健吉</b> ソケットシールドテクニックを 応用し顎堤を温存した1症例	<b>P-054 沖本 悠美</b> PMTCと機械的歯面清掃 （保険）の喪失歯と処置歯の 増加の比較
	<b>P-036 三宅 正純</b> 手作りアライナーの適応症と 作成法	<b>P-046 磯村 直輝</b> セラミックインレーの装着に おける接着強度の向上と その効果	<b>P-055 臼井 麻菜</b> 歯周炎患者に対し歯周病治療を施し改善が みられた1症例
	<b>P-037 木津 純一</b> 歯肉縁下カリエスに対して 歯牙の保存を行った1症例	<b>P-047 中野 晃仁</b> セラミッククラウン修復	<b>P-056 佐藤 陽奈子</b> モチベーションの低い患者との信頼と 口腔内環境改善の関わり
	<b>P-038 竹ノ谷 淳</b> 上顎前歯部に補綴前処置として臨床的歯冠 長延長術を行った 1症例	<b>P-048 向井 優真</b> 基礎資料収集と審美的分析に 基づいて行った 審美補綴修復症例	<b>P-057 小熊 彩未</b> 患者の生活環境に合わせた 予防的アプローチ
	<b>P-039 佐藤 亮介</b> マウスピース型矯正装置を 用いて開咬を改善した1症例	<b>P-049 金本 将樹</b> 半調整性咬合器を用いて フルマウスリコンストラクションを 行った	<b>P-058 郭 スルギ</b> 歯列不正がある患者に対して 歯周基本治療と唾液検査を 行った1症
	<b>P-040 藪 健一郎</b> 舌機能トレーニングにて 口腔機能回復した オーバーデンチャー症例	<b>P-050 北野 真也</b> クラウン補綴と ダイレクトボンディングを 併用した1例	<b>P-059 金川 文香</b> 歯肉退縮に考慮し歯周基本治療から SPT移行後8年経過症例
	<b>P-041 長田 大輝</b> 歯冠長延長術により、 前歯部歯肉の炎症と審美障害を 改善した症例	<b>P-051 野口 三智子</b> 臼歯部咬合崩壊に対する 全顎的治療の1症例	<b>P-060 三戸 友香</b> 歯周基本治療を通して 中等度歯周炎が改善した1症例
	<b>P-042 畠山 翔太</b> 訪問診療下にてCLPを行い 残根歯に補綴を施した 1症例について	<b>P-052 洪 德基</b> セラミックインレー修復における 窩洞形態の重要性	<b>P-061 吉田 京子</b> 歯周治療においての 歯科衛生士の関わり方
	<b>P-043 安岡 大介</b> 反対咬合に対して非外科的に 治療介入した1例	<b>P-053 畑中 邦夫</b> オールセラミックスを用いた 前歯部審美修復	<b>P-062 北林 鈴音</b> 歯肉腫脹が著しい患者に 歯周基本治療を行った1症例
<b>P-044 吉岡 誠浩</b> 歯冠長延長術を用いて 骨縁上組織付着を回復した症例		<b>P-063 巽 香音</b> 口腔衛生状態が不良な 患者に対するアプローチで 改善した1症例	
座長	松延 允資／白土 徹	樋口 惣／宇根岡 大典	篠原 俊介／中村 佐和子

認定教育セミナー 2024/6/8 (土) 13:30 - 16:30 セミナー室 2

L-040

認定医

## フェイスボウを用いた咬合診査

—臨床に必要な中心位の採り方のあれこれ!—

Assessment of occlusion with facebow

—Tips for CR registration required for clinical practice!



平井 順 HIRAI Jun 平井歯科

1977年3月 日本大学歯学部 卒業  
 1991年3月 歯学修士: 日本大学第4146号  
 2006年11月 明海大学歯学部 臨床教授就任  
 2011年11月 日本大学歯学部にて佐藤賞受賞  
 (創立者賞)  
 2018年3月 日本大学 客員教授就任



金沢 紘史 KANAZAWA Hirofumi 金沢歯科

1986年 新潟大学歯学部卒業  
 1986年 新潟大学歯学部歯科保存学  
 第1教室入局  
 1992年 平井歯科(神奈川県川崎市)勤務  
 1993年 金沢歯科(東京都江戸川区)開業  
 2020年3月 歯学博士取得(日本大学)

岸本 英之 KISHIMOTO Hideyuki  
岸本歯科クリニック

1997年 日本大学歯学部 卒業  
 1997年 平井歯科(神奈川県川崎市)勤務  
 1998年 ナオ歯科クリニック(東京都中央区)勤務  
 2005年 岸本歯科クリニック(東京都中央区)開設

61頁  
(上段)  
L-040

咬合は歯科の各分野において治療のベースとなるものであり、臨床において咬合を抜きに正しい診査・診断を行うことは不可能である。また、最終段階で口腔内の機能が生体と調和しているかどうかといった確認作業を行ううえでも欠かすことはできない。当然のことながら技工サイドで高精度の補綴物を作製する上でも咬合の基準を見定めることは欠かせない。こうしたことを実現するために咬合器上で再現するわけである。今回、半調節性咬合器に上顎の精密模型をフェイスボウトランスファーし、中心位にて下顎模型のマウントを行い、咬合診断～治療方針を提案し、問題点や留意点について考え、デモを通して実習していただく。咬合を学ぶ上での重要で興味深い第一歩となることを期待したい。研修事項: ①精密なスタディモデルの作成、②中心位における咬合採得法、③フェイスボウトランスファー、④咬合器上での診査・診断・治療計画の立案